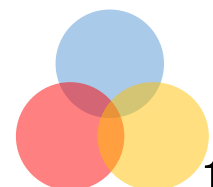


# 中野市市民会館 リノベーション基本設計(案) 市民説明会

■期日  
令和2年8月19日(水) 豊田文化センター  
令和2年8月21日(金) 市民会館

■時間  
午後6時30分～

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 市民会館リノベーション基本設計(案)について
- 4 質疑
- 5 閉会



# 基本設計（案）の構成

## 市民会館の整備方針

1

計画概要

2

配置計画

3

外観イメージ

4

平面計画

5

断面計画

6

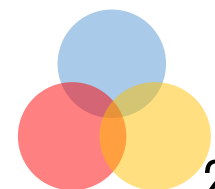
音響・舞台計画

7

設備計画

8

耐震補強計画



# 市民会館の整備方針

## 01 リノベーションの経過

### ■現在の市民会館 昭和44年建設



▲ホール棟



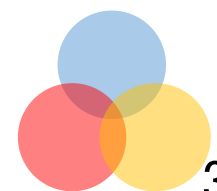
▲会議室棟

### ■建設から50年以上が経過

ホール棟の耐震不足、著しい老朽化、施設機能の不足

### ■中野市市民会館整備方針（令和2年3月策定）

現市民会館を大規模改修により長寿命化する「リノベーション」により整備する方針を策定



# 市民会館の整備方針

## 02 リノベーションにより整備する理由

1 安全・安心の  
確保



### 安全・安心の確保

耐震補強により利用者の安全・安心を確保し、今後30年以上の長寿命化を図ります。

2 財政負担の  
軽減



### 財政負担の軽減

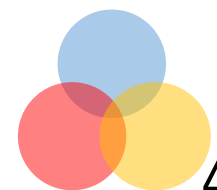
現市民会館の長寿命化に有利な地方債を活用することで、市財政への負担軽減を図ります。

3 新たな  
価値の創造



### 新たな価値の創造

リノベーションにより現市民会館の課題を解消し、新たな価値を創造します。



# 市民会館の整備方針

## 03 事業費・財源

## 04 スケジュール

### ■事業費・財源

想定事業費 **21億円**（設計・監理、リノベーション工事、備品購入）

財源	金額
公共施設等適正管理推進事業債 <small>（交付税措置あり、令和3年度まで）</small>	14.4億円
一般単独事業債	3.5億円
公共施設等整備基金	2.8億円
一般財源	0.3億円
合計	21.0億円

### ■スケジュール



# 市民会館の整備方針

## リノベーションのテーマ・コンセプト

### ■テーマ

#### 「ここじゃ…」を「ここで！」に変える

中山晋平先生、高野辰之博士、久石譲氏の故郷である音楽都市「中野市」にふさわしい施設を目指します。

### ■コンセプト



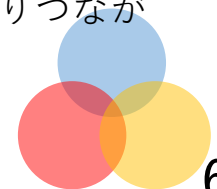
ホールの客席や音響などを整え、音楽や演劇など多様な文化芸術に触れる場を創造します。



舞台環境などを整え、小規模な催しでも使用できる多目的ホールなどを設け、多様な表現の場を創造します。

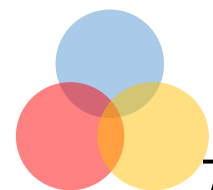


表現活動などでもできる交流スペースなどを設け、多様な文化芸術や人々が集まりつながる場を創造します。

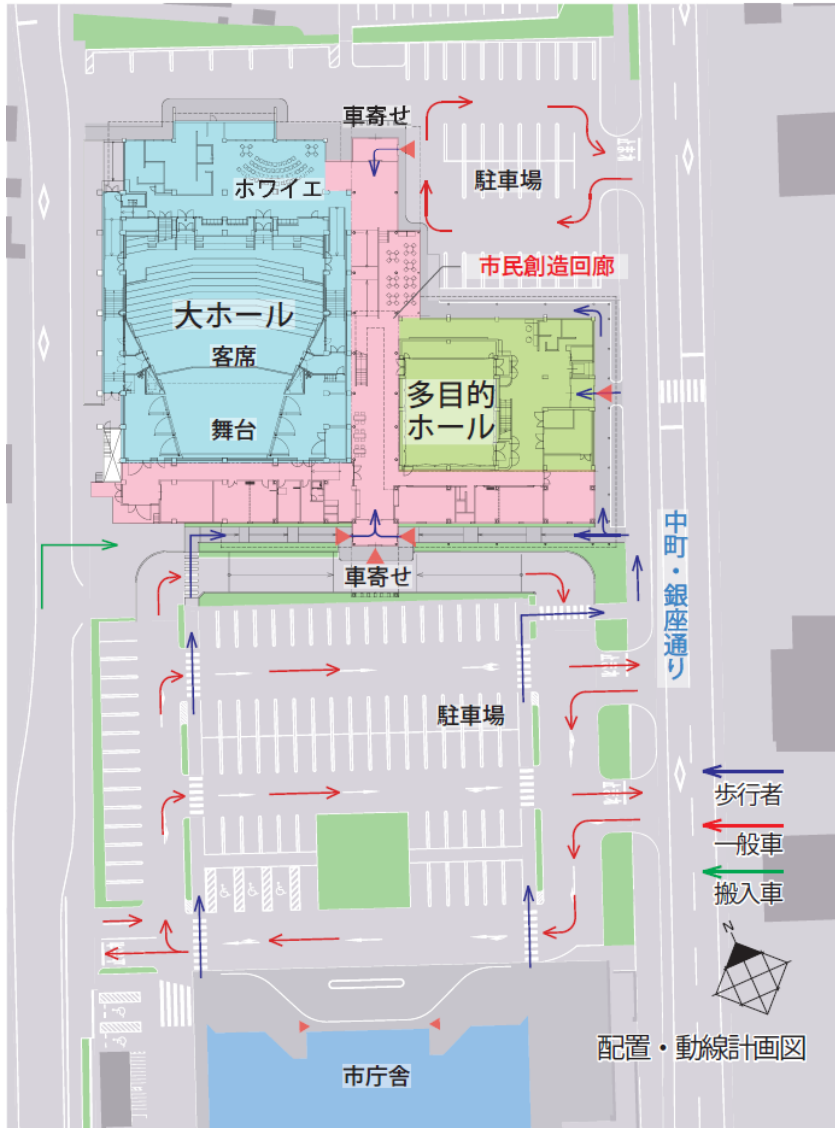


# 1 計画概要

所在地	中野市三好町一丁目 3 番12号
敷地面積	約5,370m <sup>2</sup>
建築面積	約3,140m <sup>2</sup>
延床面積	約4,150m <sup>2</sup> 〔 改修部 約2,970m <sup>2</sup> 〕 〔 新築部 約1,180m <sup>2</sup> 〕
構造	鉄骨造・鉄筋コンクリート造
階数	地下 1 階 地上 3 階建て
客席数	大ホール 800席 (車いす席・親子鑑賞室を含む) 多目的ホール 170席 (車いす席を含む)
駐車台数	131台 (市役所駐車場含む)



## 2 配置計画



- ホール棟改修
- 会議棟を多目的ホールに改修
- ロビー 楽屋等新築



### 3 外観イメージ



### 3 外観イメージ 市庁舎側の正面外観イメージ



- 新たな顔（ファサード）を形成することで、多くの市民を迎える施設となり、市庁舎のファサードとも対峙する中野市の核となる関係を構築します。
- 外装の色は既存の色を活かしながら、新築部分は白を基調とした配色を検討します。

### 3 外観イメージ 中町・銀座通り側からの南側外観イメージ



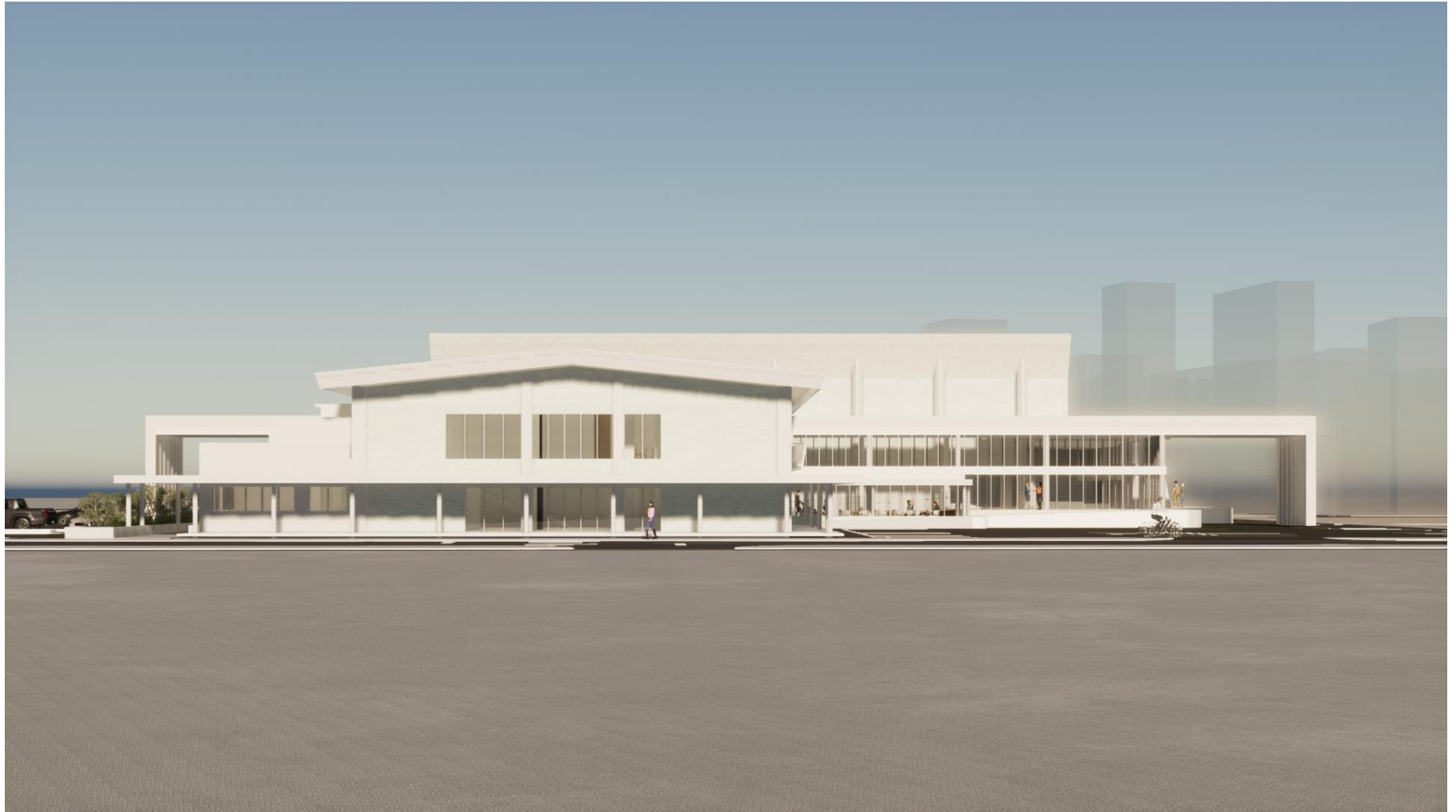
### 3 外観イメージ 北側 ファサード 夕景イメージ



### 3 外観イメージ 市庁舎側 ファサード イメージ

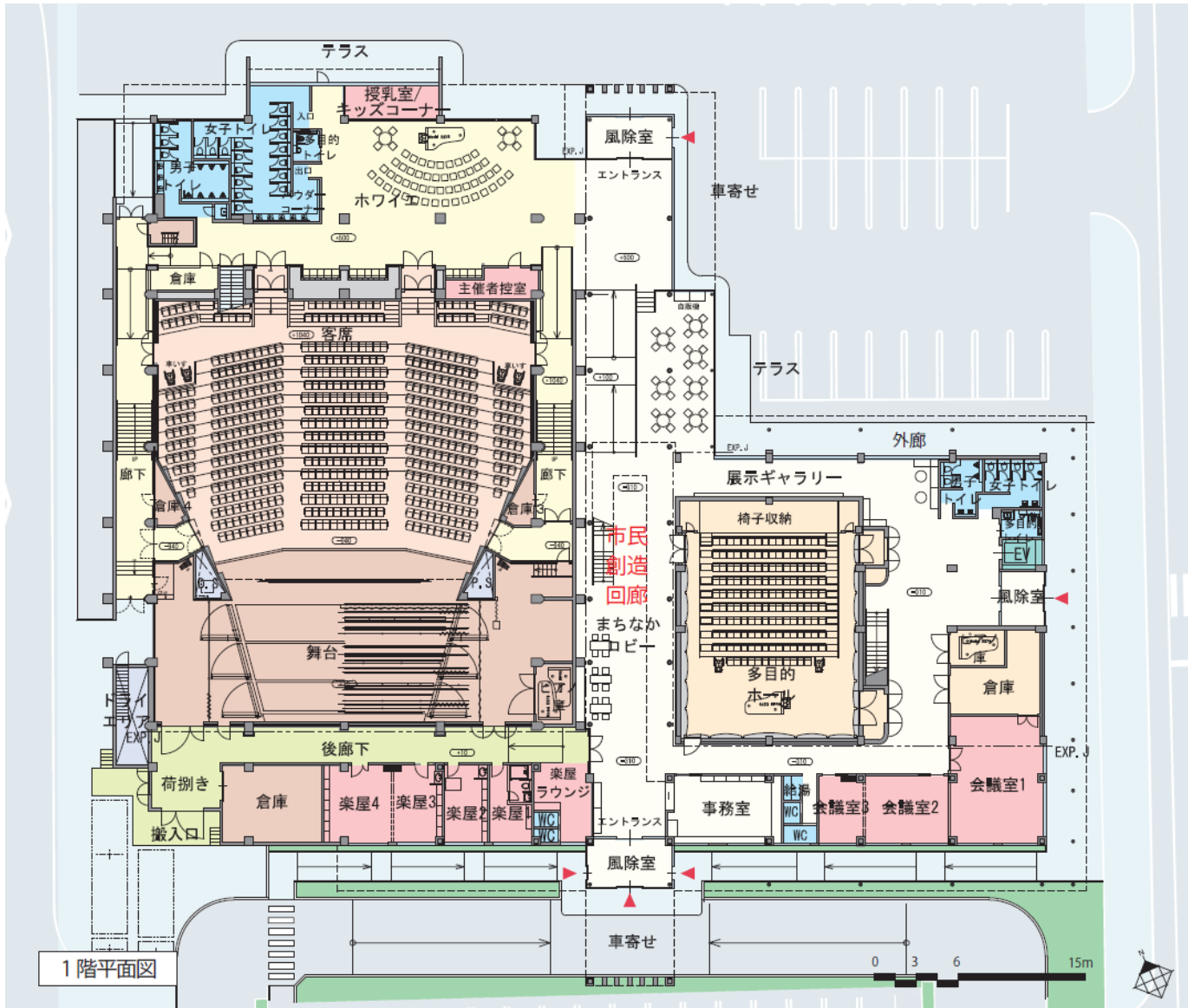


### 3 外観イメージ 中町・銀座通り側 ファサード イメージ



# 4 平面計画

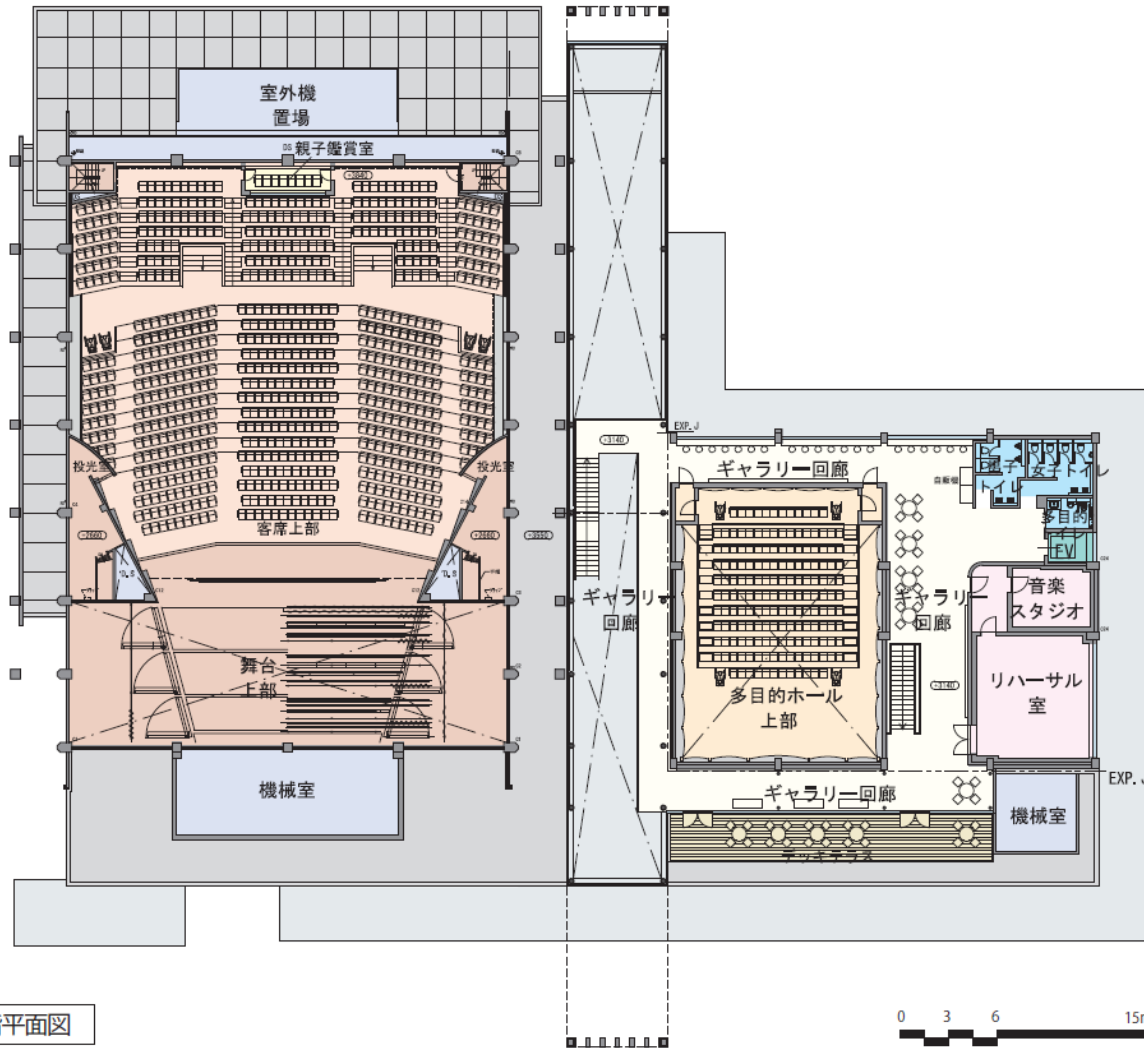
## 1 階平面図



1 階平面図

# 4 平面計画

## 2階平面図

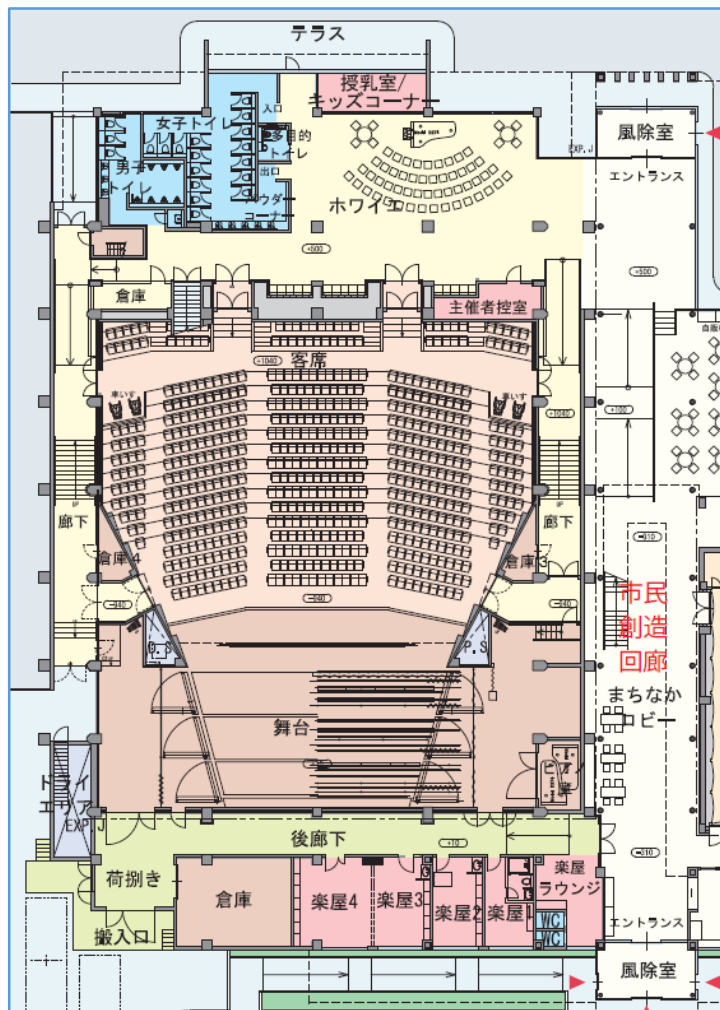


2階平面図





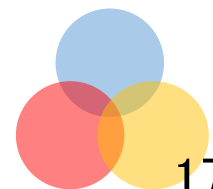
## 4 平面計画 大ホール



▲大ホール周辺

### ■大ホールの客席配置や椅子を刷新し 響きの良い音響空間を創出

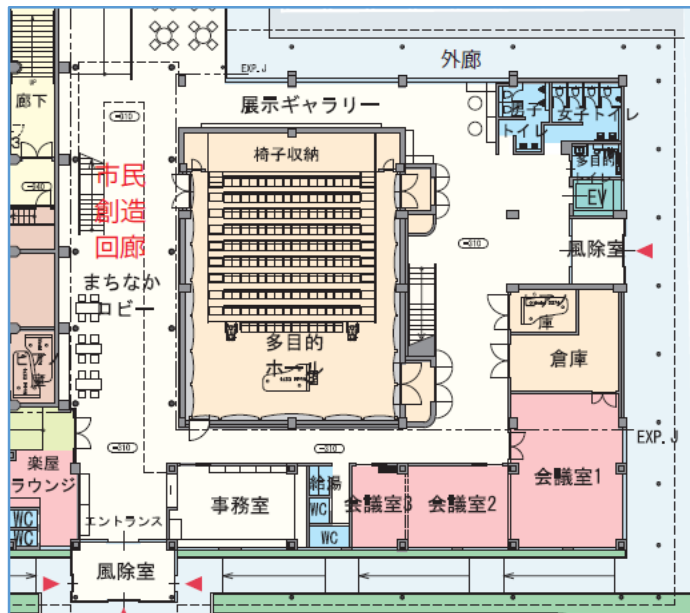
- 舞台中央が観やすく、演者と観客が近い台形の張り出し舞台とし、オーケストラピットにも対応します。
- 両サイドの客席の角度を斜めにする事で、舞台が観やすい囲み型配置とします。
- 椅子の幅を52cmに拡張し背板の角度も調整することで、ゆったり感と視認性を兼ね備えた客席にします。
- 舞台を拡張し、舞台裏手に楽屋を新築します。
- 音響効果の優れた音響反射板を設置し、開閉式とすることで演劇など多様なイベントに対応します。



## 4 平面計画 大ホール内観イメージ



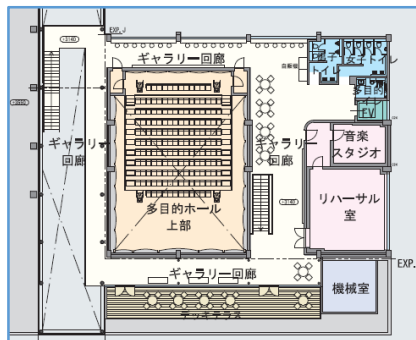
# 4 平面計画 多目的ホール



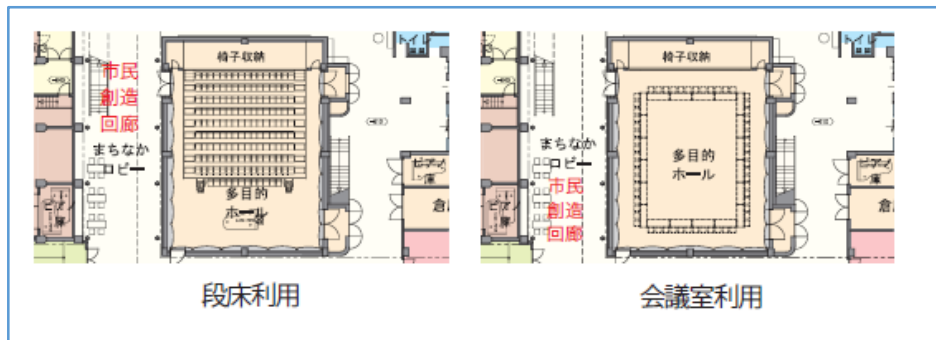
## ■ 会議室棟を多目的ホール棟に改修

- 多目的ホールは、壁面収納できる移動観客席を設置し、小ホールとしての建築音響と舞台設備を備えます。
- 平土間とし、リハーサル室や稽古場、レセプション、大会議室、展示室としての利用も可能にします。
- 1階には楽屋と兼用できる会議室、2階には音楽スタジオ、リハーサル室を配置します。

### ▲ 1階多目的ホール周辺

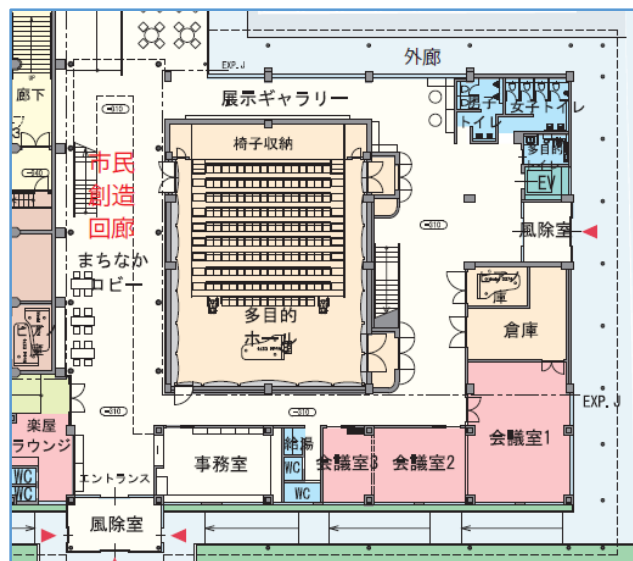


### ▲ 2階



▲ 多目的ホールは移動観客席を収納でき、会議などでの使用も可能

## 4 平面計画 市民創造回廊



▲市民創造回廊



▲展示ギャラリーとして機能する市民創造回廊

### ■中央部に交流ロビー、 展示空間「市民創造回廊」を新築

- 芸術活動促進のための市民創造回廊を新築します。
- 廊下は展示空間「ギャラリー回廊」として機能します。
- 内装には高社山のカラマツ材を活用します。
- 多目的ホール棟に外廊を設け、市民マルシェなどのさまざまなイベントにも対応します。
- 2階北側には高社山を一望できるカウンター席を設け、南側には明るいデッキテラスを設けます。

# 4 平面計画 内観パース



## 4 平面計画 内観パース



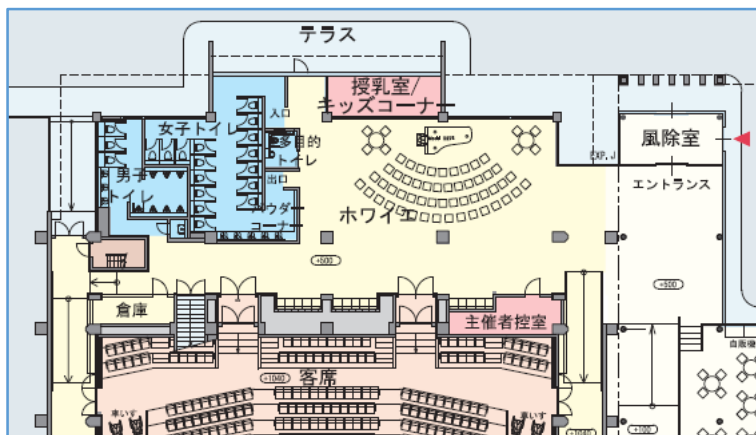
市民創造回廊 ラウンジ

## 4 平面計画 内観パース

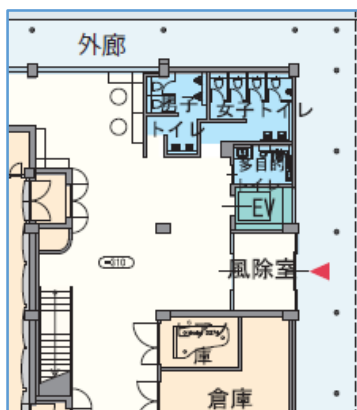


市民創造回廊 北側エントランス

## 4 平面計画 バリアフリー



▲ホワイエにトイレを配置



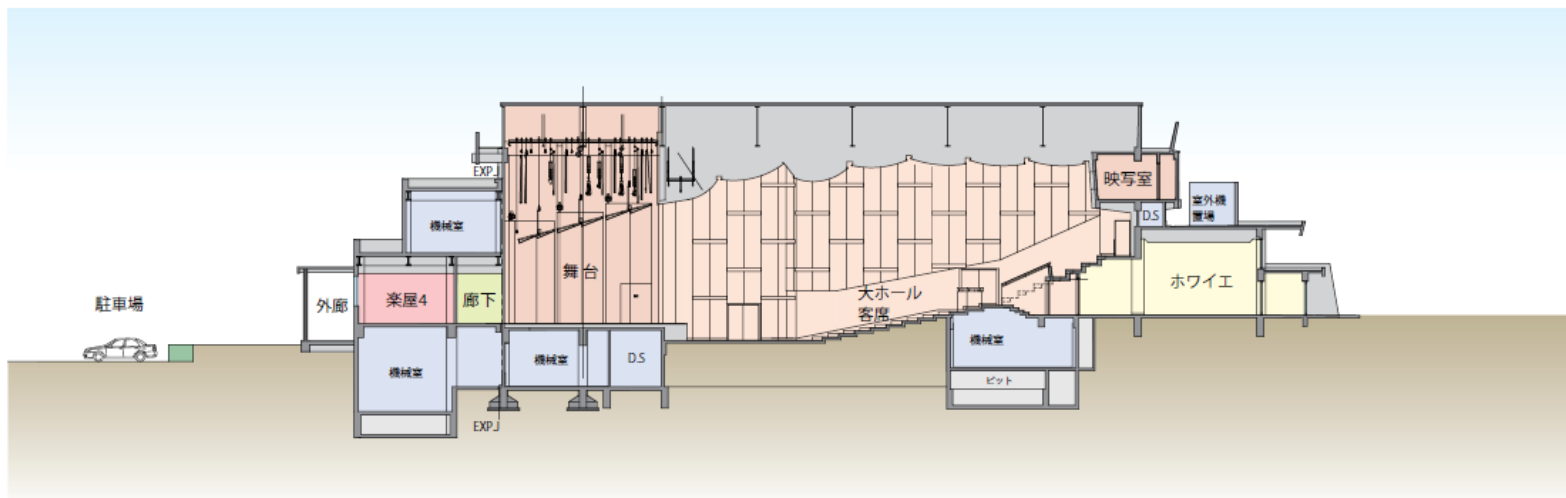
▲多目的ホールにエレベーターを配置

### ■施設全体のバリアフリー改修

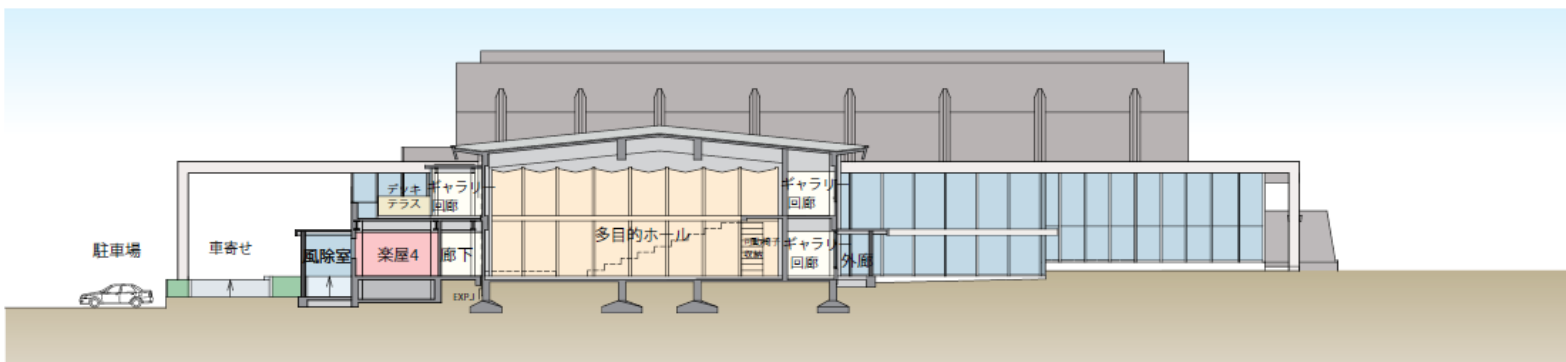
- 各所床レベルをスロープでつなぎ整えます。
- 大ホールの客席後方に親子鑑賞室を設置します。障がい者や主催者の鑑賞室としても利用できます。
- 大ホールの車いす席は横通路の前側に配置します。
- 地階にあったトイレを1階ホワイエに新設し、誰もが使いやすく広いトイレとします。
- 多目的ホール棟にエレベーターを設置します。



# 5 断面計画



大ホール 南北断面図

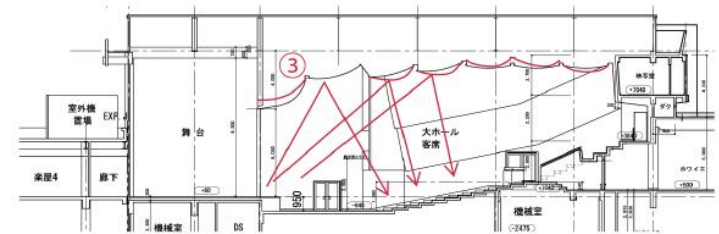
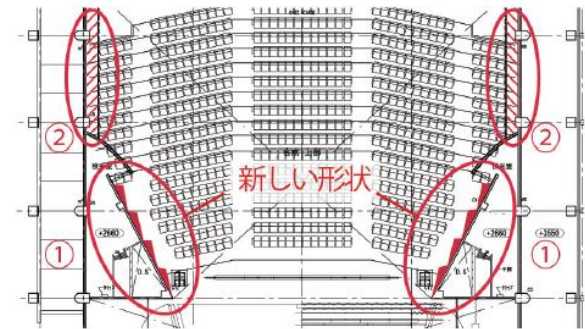


多目的ホール南北断面図

# 6 音響・舞台計画

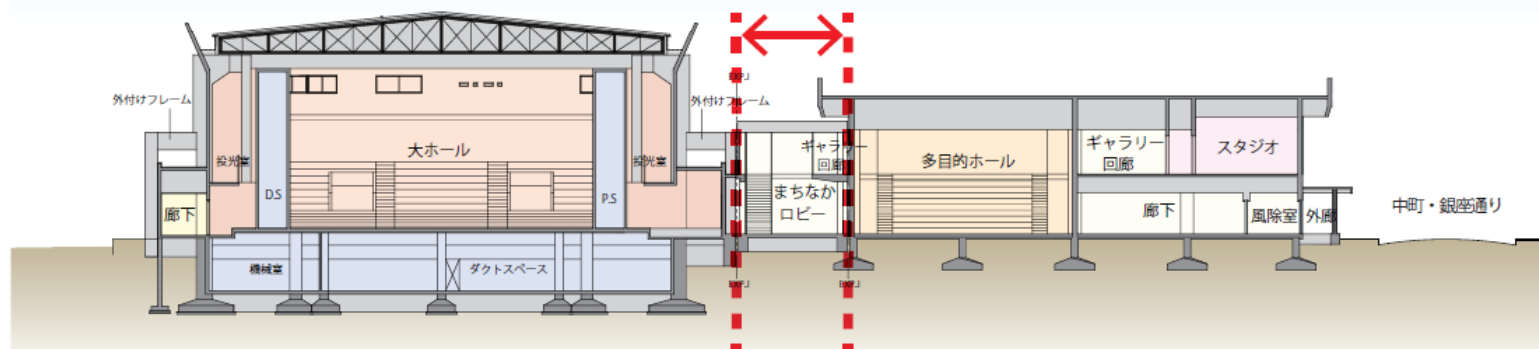
## ■初期反射音を重視した音響性能と建築意匠との調和

- 初期反射音が、客席全体に一様に時間的にバランスよく様々な方向から到達する、質の高い響きを実現します。
  - ①客席中央エリアに多くの反射音を届けるために、サイド投光室から舞台側の壁面は折れ壁状に改修し、壁の開きを狭める工夫を施します。
  - ②中通路付近の壁面には、庇状の水平な反射面をつくり、庇による反射音を増やします。
  - ③舞台開口と客席天井高さを高くし、より気積を確保するとともに、天井形状は客席に音をはね返すような形状とします。
- 非構造物である客席上部のホール特定天井の改修を実施し、利用者の安全確保を図ります。
- 豊かな音の響きを実現するため、音響的条件を満たす計画とします。

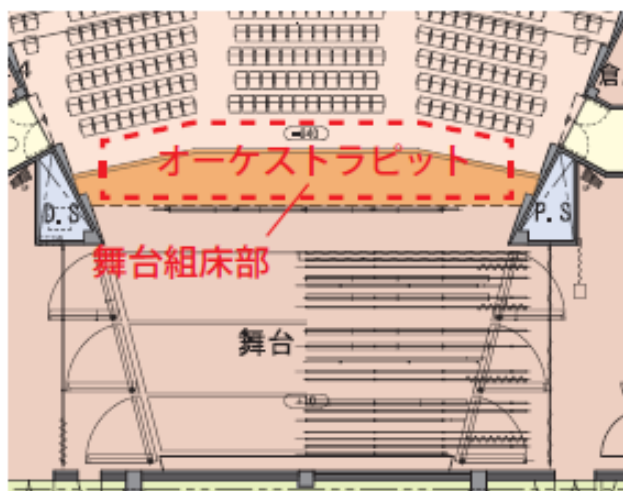


# 6 音響・舞台計画

EXP.Jにより構造を分けて大ホールと多目的ホールの遮音を実現

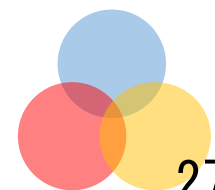


大ホール・ロビー・多目的ホール 東西断面図



▲大ホール舞台

- 客席側の組床形式の舞台を取り外すことで、オーケストラピットにも対応します。



# 7 設備計画

## ■機械設備（空調設備工事）

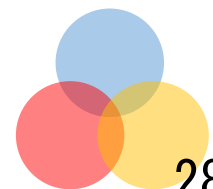
- 既存機械室棟は解体し、新たな機械室は市民会館内へ設置及び増築します。
- 空調設備システムは、ライフサイクルコスト、省エネルギー性、環境負荷低減、保守性などに配慮した方式とします。
- 騒音・振動対策の徹底を図るとともに、観客に対する気流を改善します。
- 大ホール、多目的ホールは、新型コロナウイルス等感染症対策に有効な換気量の確保及び、省エネルギー対策のため、排煙窓を利用した換気、夜間・早朝の外気冷房方式を採用します。

## ■機械設備（衛生設備工事）

- トイレなどの水廻りは、ユニバーサルデザインに配慮し快適に利用できる計画とします。
- 機器・器具類は、節水・節電型器具を採用し省エネルギーに配慮するとともに、維持管理が容易な機器とします。

## ■電気設備

- 高度化、多機能化する文化施設に対応し、信頼性・汎用性に配慮した設備計画とします。
- 音楽主体の多目的ホールとしての特性を考慮し、操作性、メンテナンス性に配慮した計画とします。
- 施設利用者の安全性に配慮するとともに、管理しやすいセキュリティ設備計画とします。
- 自然災害等における停電に備え、管理室系、一部の楽屋・トイレに対し、非常用発電機を設置します。



# 8 耐震補強計画

## ■耐震補強が新たな魅力構成となり懐かしさが感じられるリニューアルデザイン

- 耐震補強する構造がもともとあったような、自然で違和感のないデザインとします。
- これまで市民に愛された市民会館の良さ、懐かしさをできるだけ残したデザインとし、外壁や屋根構成は現在のデザインを尊重し、愛着を継承しながら、新しい魅力をもつ空間をとします。

## ■Is 値（構造耐震指標）の目標

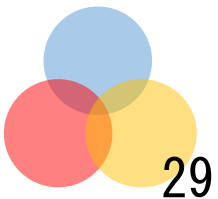
現状	耐震補強後の目標
0.22～1.82	0.75以上

### Is 値（構造耐震指標）とは...

建物の耐震性能を表す指標で、値が大きいほど耐震性が高いと判断されます。

- 0.3 未満...大規模な地震に対して倒壊などの危険性が高い。
- 0.3 以上0.6 未満...大規模な地震に対して倒壊などの危険性がある。
- 0.6 以上...大規模な地震に対して倒壊などの危険性が低い。

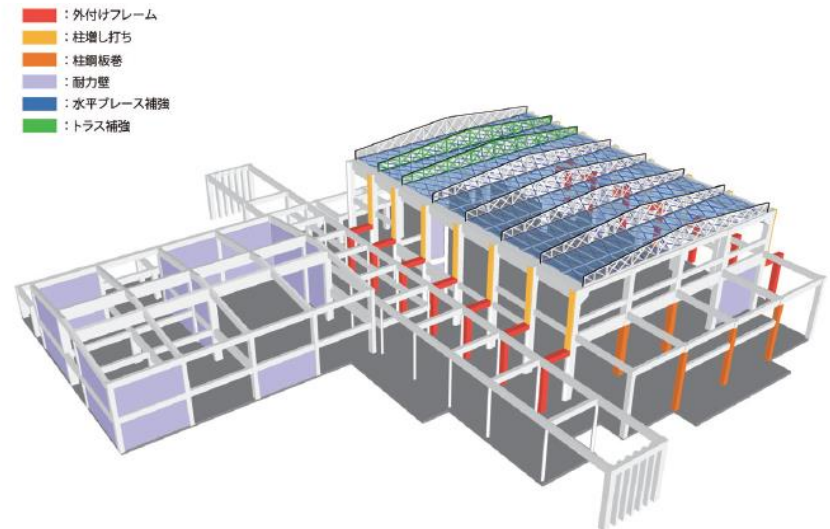
市民会館は、不特定多数の人が使用するため、構造耐震判定指標を $0.6 \times 1.25$ （用途係数） $= 0.75$  とします。



# 8 耐震補強計画

## ■耐震補強・長寿命化計画の概要

- 市民会館の内部機能と開放性を確保するため、耐震性の低い東西方向は外付けフレーム構法により補強します。
- ホールは、屋根面の断熱改修や舞台機構の新設、音響性能の改善、客席天井の耐震化を行います。
- 天井の質量増に対応するため屋根鉄骨トラスの補強を行います。
- 多目的ホール棟は、耐力壁が撤去される部分に対し、同等の耐力壁を別の位置に増設し、耐震性を確保します。
- 長寿命化対策と定期的に改修工事を行うことで、今後50年程度の使用を目指します。



# 基本設計（案）へのご意見を募集しています

■募集期間 9月4日（金）まで

## ■ご意見の提出方法

電子メール

bunshin@city.nakano.nagano.jp

郵送

〒383-8614

中野市役所文化スポーツ振興課文化振興係

ファクス

0269-22-2295

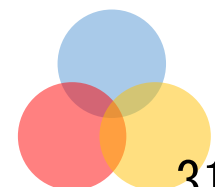
持参

中野市役所文化スポーツ振興課

豊田支所地域振興課

## ■様式

任意様式



# 市民会館リノベーションラボの参加者募集

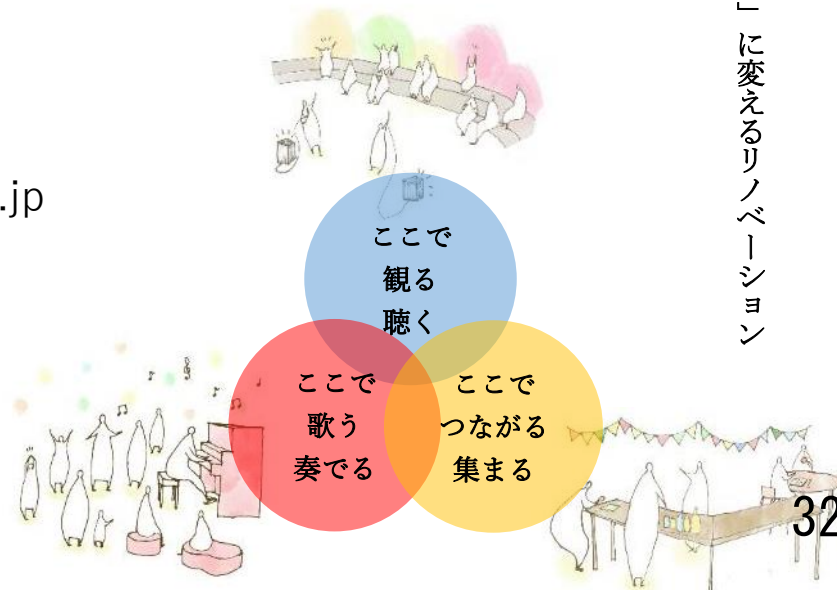
リノベーションにより生まれ変わる市民会館のホールや音響などについての理解を深めるため、市民や利用者の皆さんを対象としたレクチャー型ワークショップ「市民会館リノベーションラボ」を開催します。

## ■開催日時

- 1回目 8月30日（日）午後1時30分
- 2回目 9月13日（日）午後1時30分

## ■申し込み

- 募集人員 30人程度
- 募集期間 8月24日(月)まで
- 申込先 中野市役所文化スポーツ振興課
  - ・電話 0269-22-2111（内線394）
  - ・電子メール [bunshin@city.nakano.nagano.jp](mailto:bunshin@city.nakano.nagano.jp)
  - ・ファクス 0269-22-2295



「ここじゃ…」を「ここで！」に変えるリノベーション